

さいたま市立植水小学校

〒331-0057 さいたま市西区中野林225-1

TEL 048-624-4235

FAX 048-624-2280

Webページ <http://uemizu-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail uemizu-e@saitama-city.ed.jp

令和6年度 5月号 令和6年4月30日発行



学校だより

～創立136周年

「当たり前」が日常に

さいたま市立植水小学校
校長 保坂 泰司

地域、保護者の皆様、日頃より本校の教育活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。令和6年度が始まって、早いもので1か月が経とうとしています。小学校に入学、またひとつ学年が上がったお子様の姿、様子はいかがでしょう。どの子ども、これからの学校生活での勉強や運動、友だちとのかかわりなどに対して、ワクワク・ドキドキ感で満たされているのではないかと思います。本校としまして、子どもたちの学校生活に対するそれらの想いにしっかり答えられるよう、我々教職員としての資質を高めながら、日々のよりよい指導に努めてまいります。

さて、話は変わりますが、私が本校に着任してから、感心させられた植水っ子たちの姿について話させていただきます。まずは、ひとつめです。何といても、誰もが気さくにあいさつをしてくるということです。朝、登校を見守っていると「おはようございます」、学校内では「こんにちは」、掃除をしていると「いつもありがとうございます」と。あいさつが溢れる環境は、それだけで居心地がよく、誰もが安心して過ごせる場所になると考えています。ぜひ、このあいさつが本校だけではなく、植水地区全体に広がるよう、子どもたちに声かけをしていきます。次に、ふたつめです。それは、みんなが拍手をしっかりとできるということです。朝会で、発表した仲間に対して「素晴らしい!!」「ブラボー!!」の気持ちをしっかりと込めて拍手をする姿に感動させられました。いつも思うことですが、いつ、自分がどこで、どの場面で拍手をもらうかわからないからこそ、普段からしっかりと気持ちを込めた拍手を他の人たちにしていくことはとても大切なことであると。小学生なら誰しも、入学式や卒業式などで拍手を必ずもらいます。これら2つのことは、「当たり前」のことだと考えます。「当たり前」は、将来立派な大人に成長するための土台を築きます。「当たり前」が多ければ多いほど、「土台」は大きく強固なものになります。学校として、子どもたちには、できる「当たり前」をたくさん身に付けさせていきます。

明日から休みが続きます(「さいたま市民の日」については、下の「お知らせ」を確認ください)。危険な場所には近づかない、交通ルールを守るなど安全に気を付けながら有意義な休みをお過ごしください。休み明けは、子どもたちが明るく、元気に登校するのを楽しみにしています。休み中の出来事も聞かせてもらいます。最後に、連休明けは子どもたちの気持ちや生活リズムを崩しがちになります。ぜひ、お子様のことで気になることがある場合には、すぐに学校へ連絡、相談をよろしくお願いいたします。

お知らせ

5月1日は
さいたま
市民の日

市の歴史や文化に親しんでいただき、市民の皆さんと一緒に、魅力ある市を将来にわたって創っていくことを期する日として、市誕生20周年を契機に、さいたま市が誕生した5月1日を「さいたま市民の日」として制定しました。当日は、市内各地で様々な催しが行われる予定です。詳しくは、「さいたま市民の日」で検索してください。